

2009年3月期 決算説明会

配布資料

2009年6月1日

日本農産工業株式会社

ノーサングループの概要

社会的使命
 いのちの営みを通じて、
 人々の健康と幸せに貢献します

● 日本農産工業の概要 (2009年3月現在)

設立: 1931年
 資本金: 7,411百万円
 親会社: 三菱商事株式会社 (持分比率52.74%)
 従業員数: 1,079名 (連結)
 売上高: 154,797百万円 (連結)

事業	飼料事業	食品事業	ライフテック事業
主な製品・事業内容	畜産飼料 水産飼料	「ヨード卵・光」および その関連商品、鶏卵	ペットフード 馬用・動物園用飼料 バイオ分野
売上高 構成比	124,732 (百万円) 80.6 (%)	15,845 (百万円) 10.2 (%)	14,219 (百万円) 9.2 (%)
連結子会社	飼料販売 4社 飼料製造 1社 養豚農場 2社	養鶏農場 2社 鶏卵販売 3社	ペットフード製造販売 1社 プレミックス製造販売 1社 実験動物関連 1社

中期経営計画 NBT step.2

2009年3月期～2011年3月期

ノーサングループ
の目指す姿



1. お客様満足度向上戦略
2. コスト競争力強化戦略
3. 人を活かし、プロを育てる戦略
4. ブレイクスルー戦略

主なトピックス

- ・品質管理体制の強化
- ・ユーザーニーズに応えた製品の製造販売
- ・人材育成活動
- ・ペットフード事業好調
- ・穀物市場の乱高下
- ・畜産物相場の低迷

品質保証 (ISO9001 認証取得 / GMP 適合確認)

ISO9001

認証取得時期	事業区分	事業所名
2007年度以前に取得	本社 R&D 飼料事業(工場) 飼料事業(支店) ライフテック事業	飼料販売企画部、原料部、飼料製造企画部、品質保証部 研究開発センター(2000年度) 水島工場、志布志工場 西日本支店、九州支店 ペットライン(2006年度)、ニッチク薬品工業
2008年度に取得	本社 飼料事業 飼料事業(工場) 飼料事業(支店)	水産部 水産部中部営業所、浜松水産研究所 知多工場 中部支店
2009年度に取得予定 (*)は2009年4月取得済	飼料事業 ライフテック事業	ジャパンフィード(*)、道東飼料(*)、仙台飼料 ナルク

GMP (注)

適合確認時期	事業区分	事業所名
2007年度に適合確認	飼料事業(工場)	志布志工場
2008年度に適合確認	飼料事業(工場) ライフテック事業	水島工場 ニッチク薬品工業
2009年度以降に適合確認 予定	飼料事業	ジャパンフィード、仙台飼料(検討中)

(注) GMP: Good Manufacturing Practiceの略 (製造管理・品質管理の規則のこと。ここでは抗菌剤GMPのことをいう)

品質保証・教育・内部統制活動

・品質管理及び人材育成の活動を積極的に推進

- ◇ ISO活動
- ◇ ISO関連教育プログラム
- ◇ (人事)マネージメント研修
- ◇ (人事)新任執行役員研修
- ◇ (人事)リーダー育成研修
- ◇ (人事)新人・2年目研修
- ◇ (人事)考課研修
- ◇ 社内教育活動
- ◇ 内部統制関連活動

活動経費計 約151百万円

畜産飼料

・販売数量

全体 : 前年比 96.0%
 自社ブランド : 前年比 100.0%

・ユーザーニーズに応えた養牛用飼料の製造・販売体制強化

道東飼料 牛代用乳ライン新設

- ・2008年10月完成
- ・北海道で唯一の代用乳工場
- ・北海道は日本で最大の子牛生産基地
- ・ユーザーニーズに応えた高品質代用乳を供給



仙台飼料 牛専用飼料工場稼働

- ・2009年3月牛専用飼料工場完成
- ・養牛用飼料製造能力: 月間14,000トン
 (養鶏・養豚用飼料製造能力: 月間36,000トン)
- ・東北地区での養牛用飼料の販売強化



水産飼料

- ・販売数量
全体：前年比 90 %

- ◇ 植物タンパク質・チキンミール・魚油等の原料アップを価格転嫁できず
- ◇ ギンザケ用飼料の販売好調
 - ・バリューチェーンによるブランド化の推進



中国での事業展開

・伸長する中国市場での飼料事業展開

山東省 プレミックス事業

- ・会社名: EVIALIS (Shandong) Co., Ltd.
- ・出資比率: 30%
- ・フランスEVIALIS社とのJV
- ・事業内容: 飼料用プレミックスの製造販売
- ・2008年3月より製造販売開始



福建省 水産飼料事業

- ・会社名: 福建高農飼料有限公司
- ・出資比率: 40%
- ・中国高龍集団グループとのJV
- ・事業内容: 高付加価値水産飼料の製造販売



食品事業



■販売状況

販売数量：前年比92%

- ・家庭用：前年比92%
- ・業務用：前年比96%



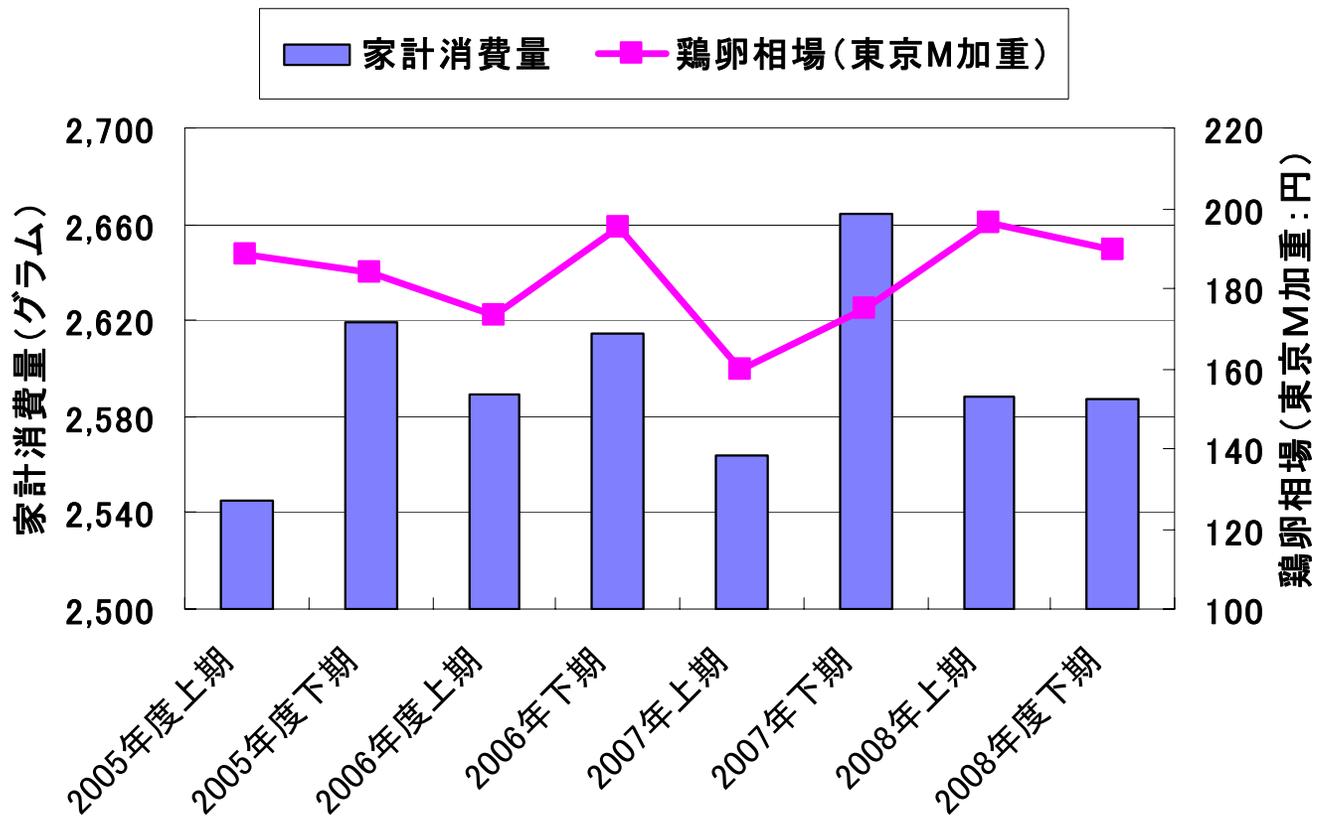
「ひかりんカフェ」

- ・景気後退の影響で販売数量減
- ・学会発表や食育活動を積極的に推進

- 価格改定実施
- MCアライアンス先への販売(ライフ等)
- ヨード卵関連新規商品販売(山崎製パン向け新商品等)
- 学会発表(計10件)
 - ・第8回日本抗加齢医学会
(同志社大、慶応大、聖マリアンナ医大、星薬科大との協同研究)
「血管・骨年齢への効果」「抗糖尿病効果」「肝炎肝硬変予防効果」
「心と体への有用性」
 - ・第55回日本栄養改善学会(慶応大との協同研究)
「脂質代謝改善作用」
 - ・第13回アジアオセアニア畜産学会(聖マリアンナ医大との協同研究)
「糖尿病の発症抑制とインスリン抵抗性の改善効果」
- 食育活動
 - ・「ひかりんカフェ」お台場にて2008年夏期限定で開店
 - ・9,000組以上が来店
- 会報誌発行(年4回発行、17,000部)

鶏卵相場と家計消費量の推移

・景気後退の影響により鶏卵消費量も低迷



11ページのスライドに戻ります

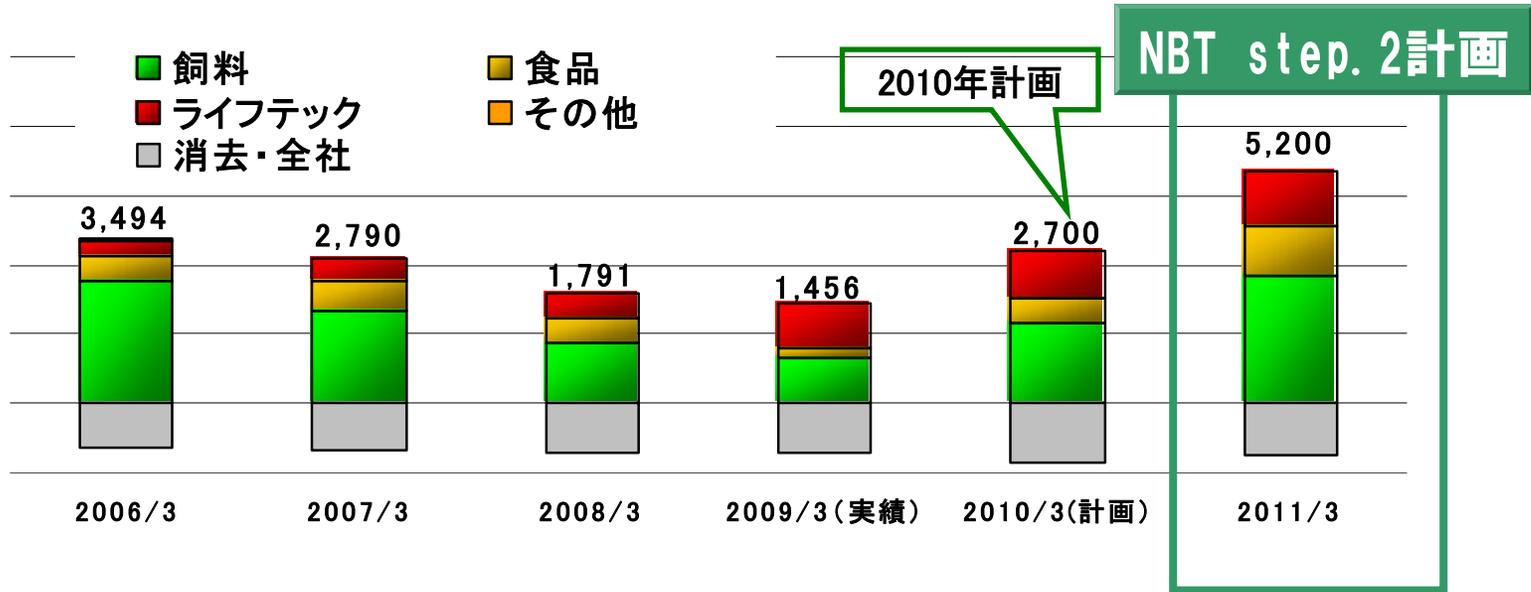
ライフテック事業

- ・馬用飼料の販売数量減
- ・バイオ分野売上好調と人件費削減により経常利益増
 - ー生殖医療用試薬等の売上および利益の増加
 - ー受託ビジネス(DNA免疫・タンパク発現)は、ラボ統合等によるコスト改善
- ・ペットラインの業績好調



事業別営業利益 実績/計画

(単位:百万円)



連結営業利益	NBT step.1			NBT step. 2		
	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3(実績)	2010/3(計画)	2011/3
飼料	3,567	2,652	1,720	1,287	2,270	3,700
食品	701	908	717	302	650	1,400
ライフテック	446	585	772	1,301	1,460	1,600
その他の	45	23				
消去・全社	△ 1,266	△ 1,378	△ 1,418	△ 1,433	△ 1,680	△ 1,500
連結計	3,494	2,790	1,791	1,456	2,700	5,200

配合飼料価格安定基金

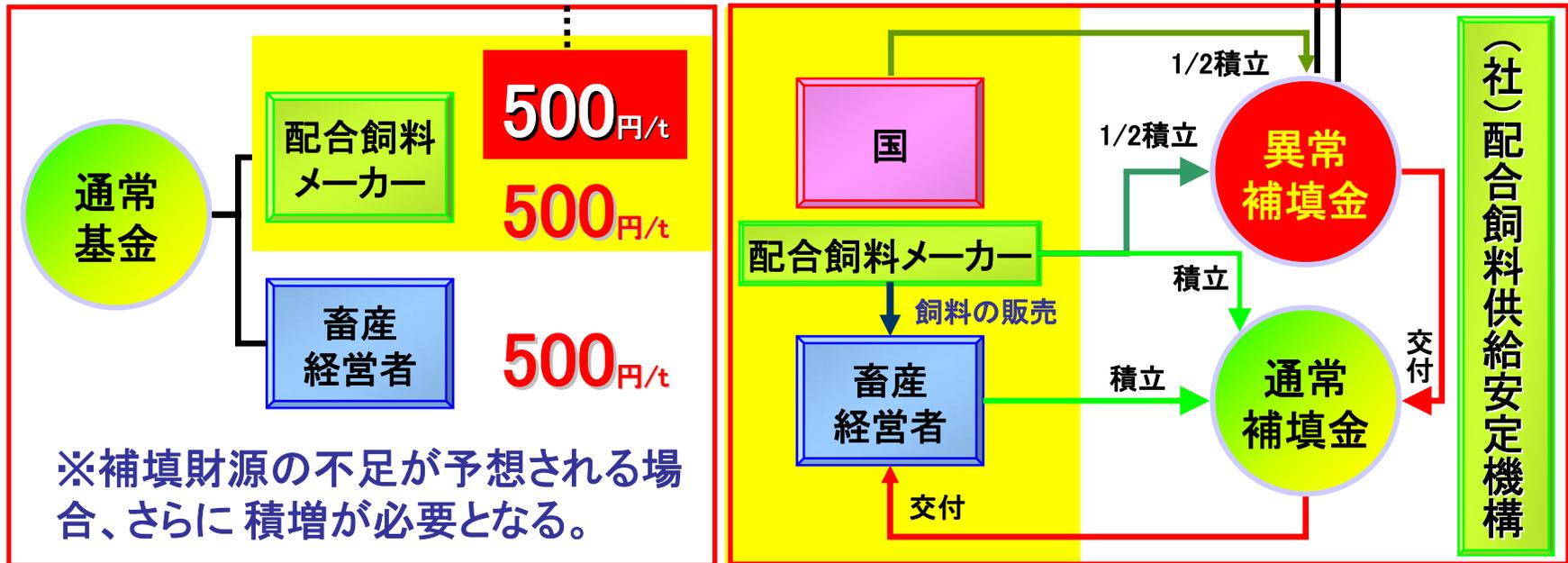
- 飼料価格の変動による畜産経営の影響を緩和する制度
- 当該四半期の価格が直前1年間の平均を上回った場合に発動

積立金負担

2007年4月から

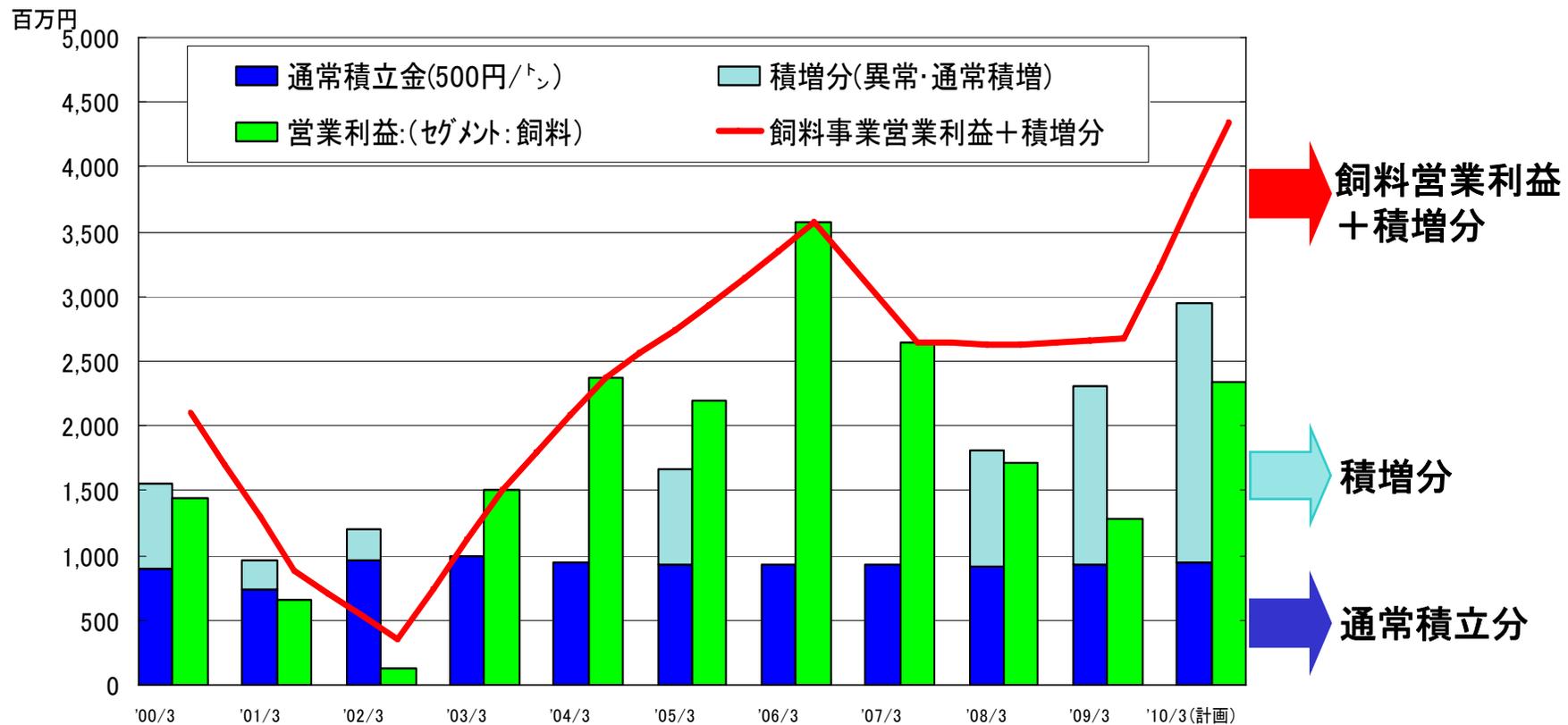
2008年4月から

2009年4月から



飼料事業営業利益と安定基金積立金推移

・飼料価格安定基金の積み立て増加によるコストアップ



原料・為替相場

トウモロコシ

天候不良による需給逼迫および金融市場の混乱などによる相場の乱高下

大豆粕

トウモロコシの相場乱高下に追随

海上運賃

中国鉄鉱石需要の増加による高騰後、世界的な景気減速により急落したが、その後上昇基調

為替

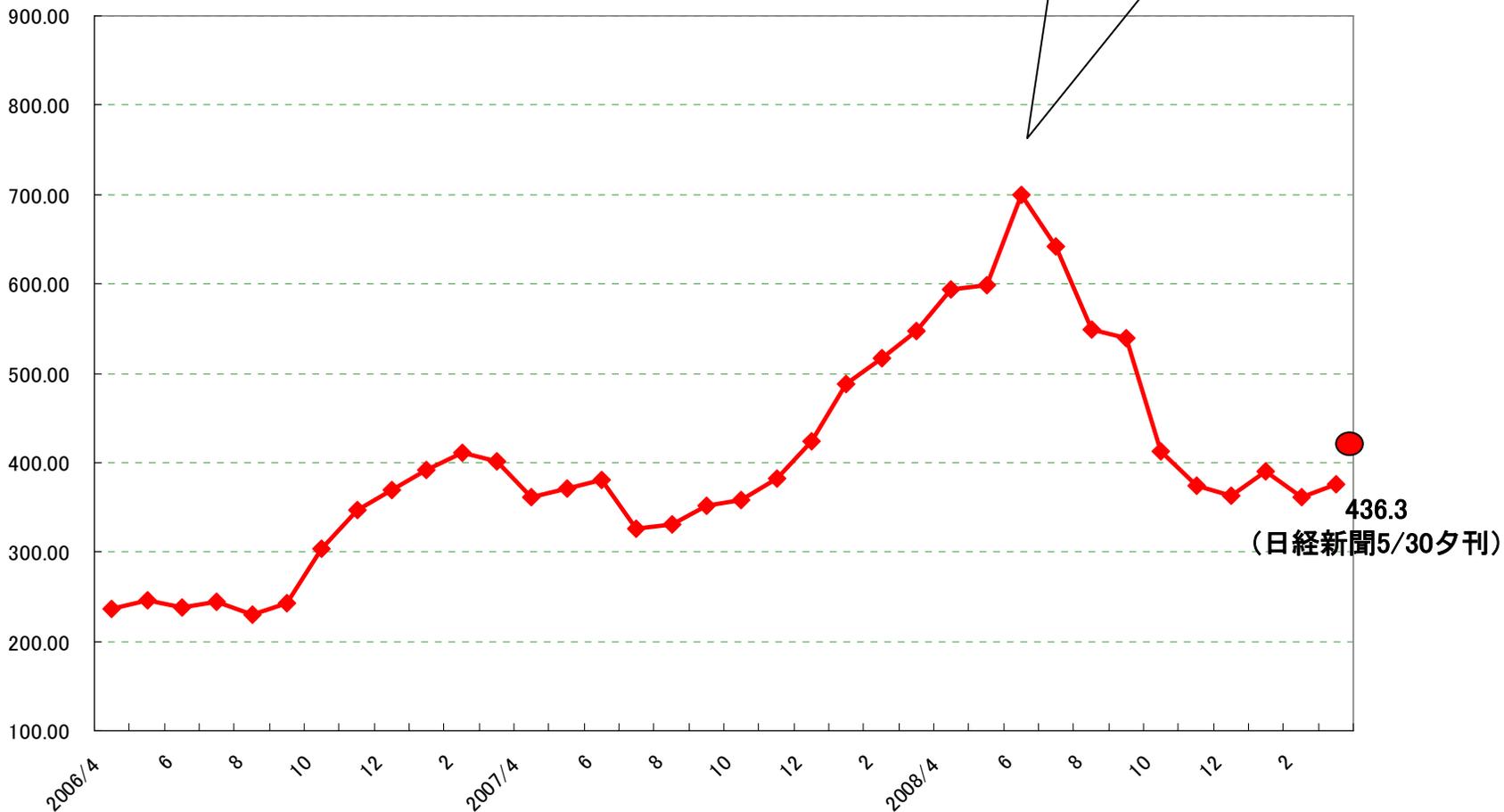
世界経済の先行き不透明感を背景に、一進一退の展開

原料相場

トウモロコシ

(¢ / B)

史上最高値(2008.6.27)
762.5 ¢ / B (2008.7限)



436.3 (日経新聞5/30夕刊)

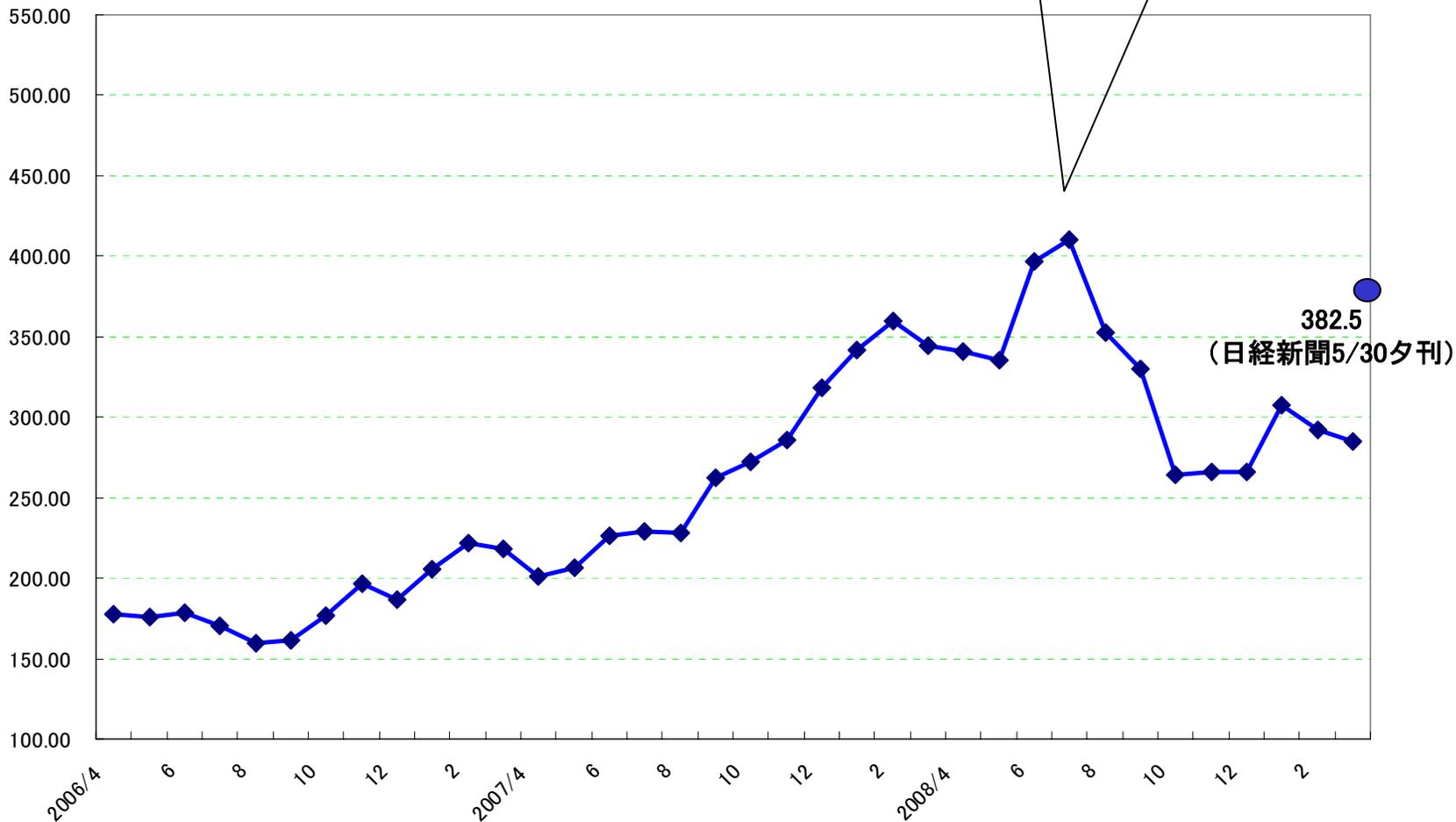
出典: (社)配合飼料供給安定機構

原料相場

大豆粕

(\$/st)

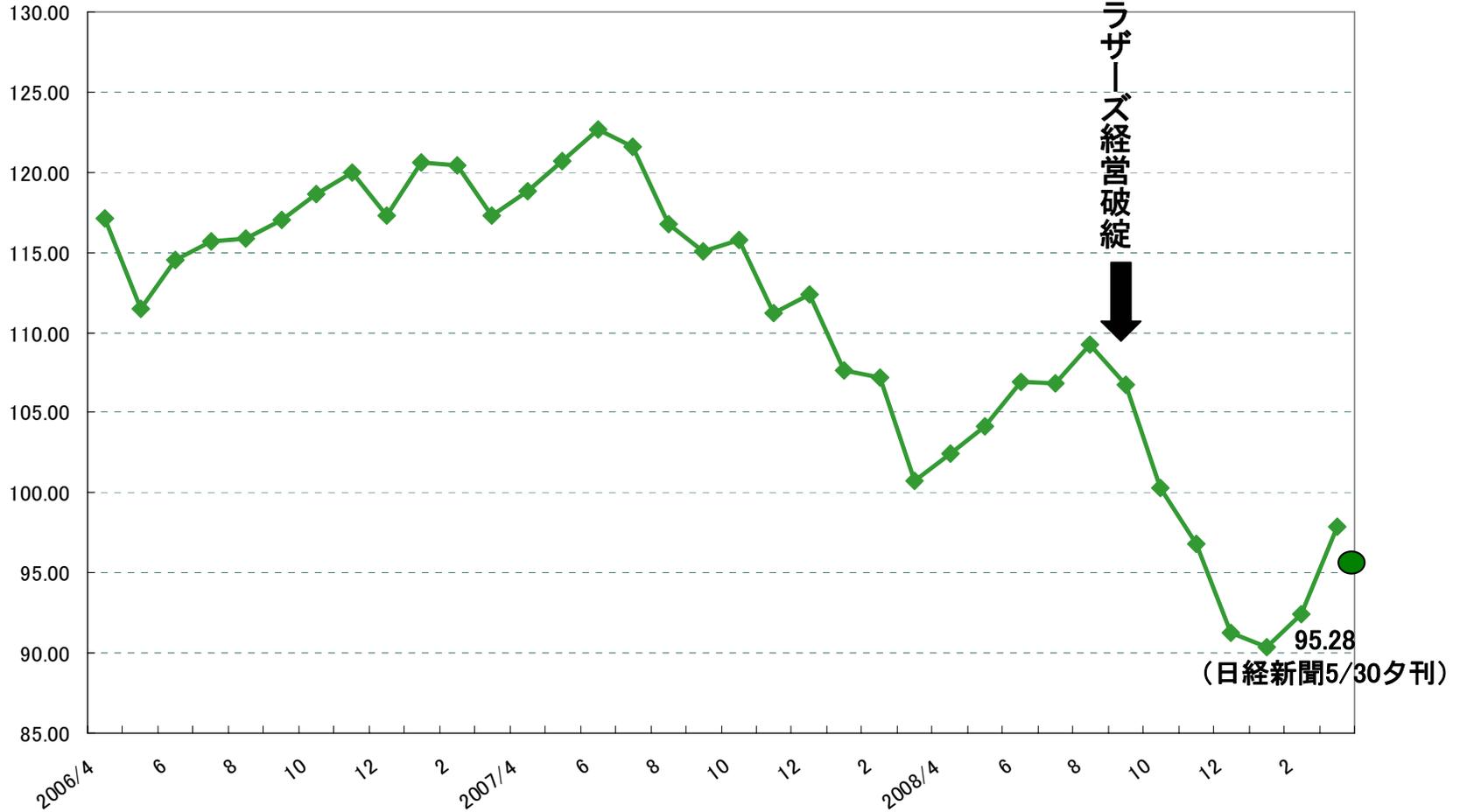
史上最高値(2008.7.11)
441.1\$/st (2008.9限)



出典: (社)配合飼料供給安定機構

為替動向

(円/\$)

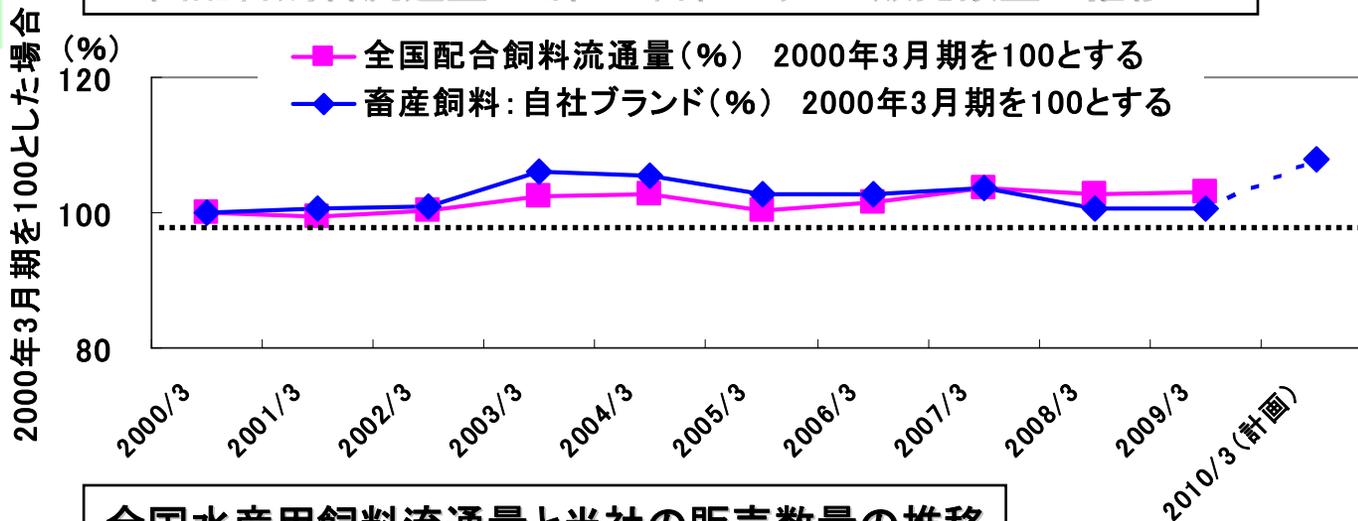


出典: (社)配合飼料供給安定機構

配合飼料販売量の推移

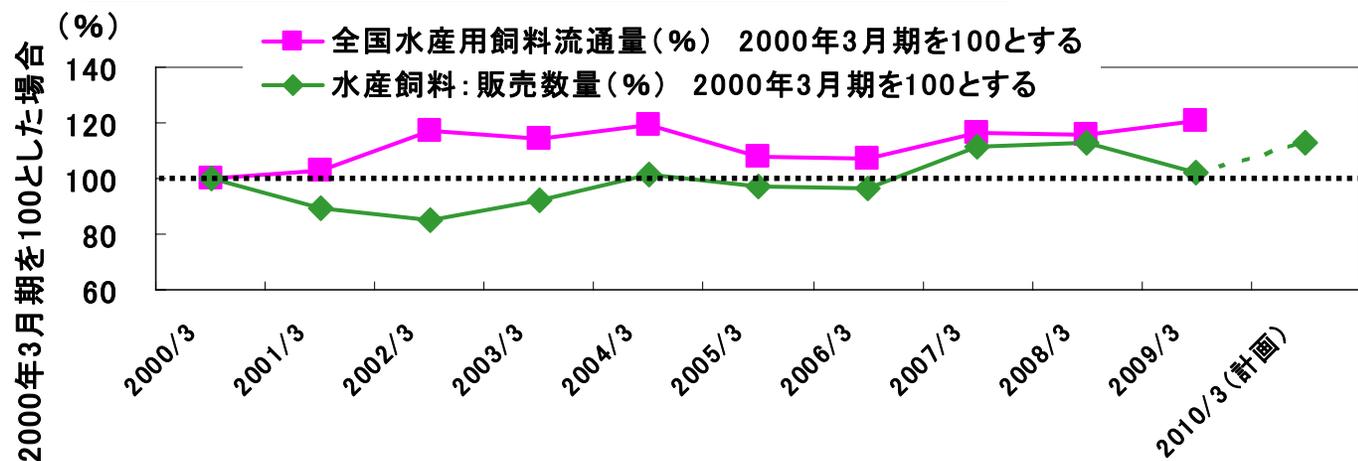
畜産飼料

全国配合飼料流通量と当社の自社ブランド販売数量の推移

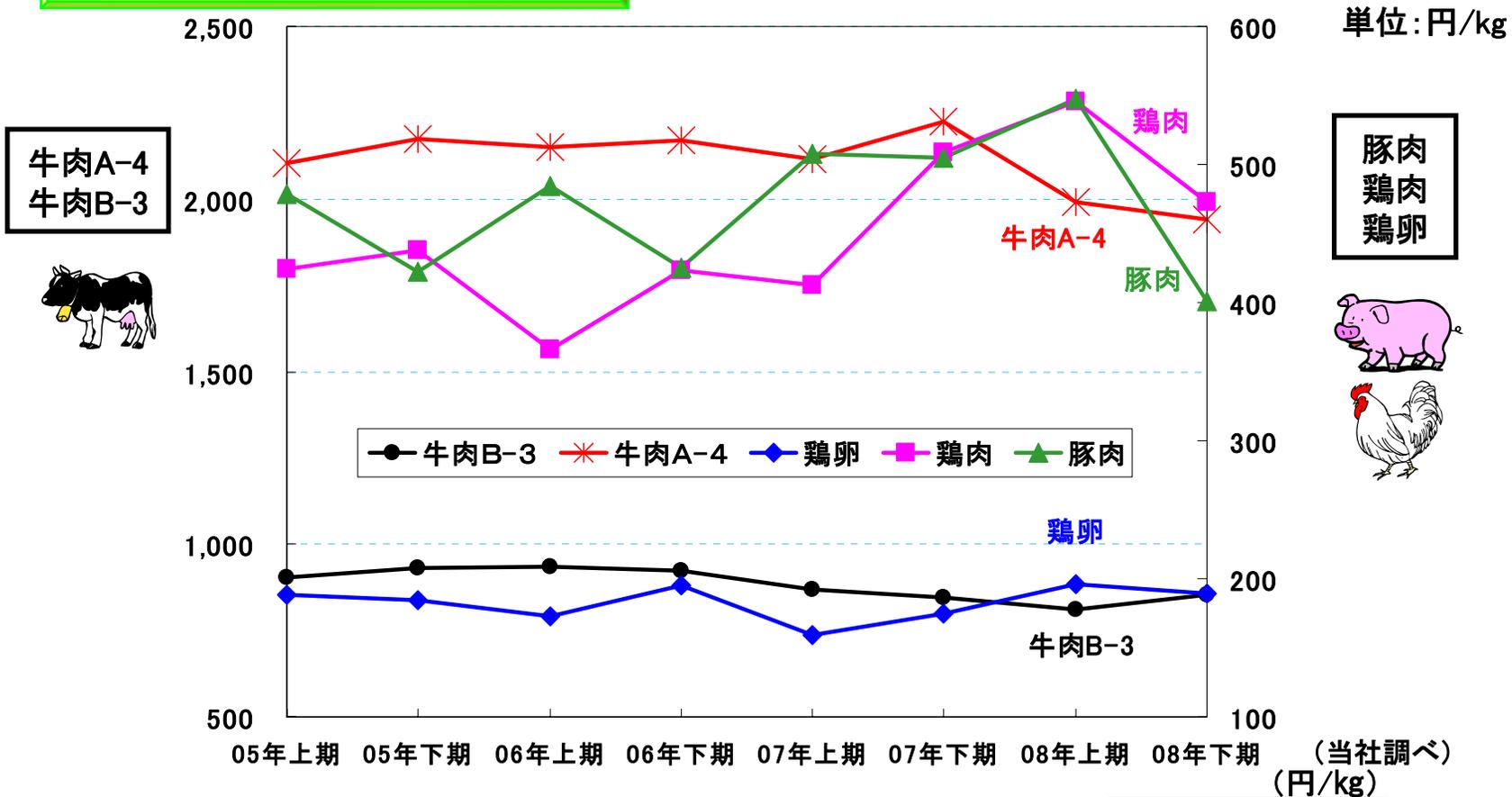


水産飼料

全国水産用飼料流通量と当社の販売数量の推移



畜産相場の状況



	05年上期	05年下期	06年上期	06年下期	07年上期	07年下期	08年上期	08年下期
鶏卵	188	184	173	195	160	175	196	190
鶏肉	424	438	366	423	413	509	545	473
豚肉	479	422	484	425	508	505	548	401
牛肉B-3	903	930	934	924	870	844	809	853
牛肉A-4	2,104	2,175	2,150	2,169	2,116	2,226	1,992	1,941

鶏卵：東京M加重、鶏肉：東京正肉加重、豚肉：東京上物加重、牛肉：牛枝肉(B-3東京乳去勢 A-4和牛雌)

2009年3月期 決算のポイント

	2009年3月期	2008年3月期	増減
売上高	1,547 億円	1,419 億円	128 億円
営業利益	1,456 百万円	1,791 百万円	△ 335 百万円
経常利益	1,716 百万円	2,045 百万円	△ 329 百万円
当期純利益	855 百万円	1,793 百万円	△ 938 百万円
1株当たり配当金	5.0 円	6.5 円	△ 1.5 円

ポイント

- ・飼料価格改定による売上高増加
- ・安定基金負担増(▲5億円)によるコストアップ
- ・ペットラインの収益伸長
- ・農場関連グループ会社の業績悪化

2010年3月期 計画のポイント

	2010年3月期計画	2009年3月期	増減
売上高	1,410 億円	1,547 億円	△ 137 億円
営業利益	2,700 百万円	1,456 百万円	1,244 百万円
経常利益	2,500 百万円	1,716 百万円	784 百万円
当期純利益	1,400 百万円	855 百万円	545 百万円
1株当たり配当金	5.0 円	5.0 円	-

ポイント

- ・安定基金負担増(▲6億円)によるコストアップ
- ・畜産飼料拡販、水産飼料収益改善
- ・ペットライン・ニッチク薬品工業等の更なる増益
- ・農場関連グループ会社の収益改善

2010年3月期 計画のポイント

重点施策

- ・養牛用飼料の拡販(道東飼料代用乳工場、仙台飼料牛専用工場操業開始)
- ・新製品発売(子牛哺育育成用、搾乳用、種豚用、ブロイラー用)
- ・ペットフードの拡販及び製造体制強化
- ・三菱商事グループとのコラボレーションの更なる追求
飼料製造拠点、海外事業展開、三菱商事グループと連携した拡販
- ・品質・製造管理体制の更なる強化
GMP適合確認: ジャパンフィード(2009年10月)、仙台飼料(検討中)

懸念材料

- ・原材料価格の再度の上昇
- ・景気低迷の長期化による畜産物相場低迷の長期化
- ・不良債権の発生
- ・家畜の疾病リスク

財務諸表の概要

2009年3月期

連結貸借対照表

単位:百万円

	2009年3月末	2008年3月末	増減		2009年3月末	2008年3月末	増減
I 流動資産	36,423	38,351	△ 1,928	I 流動負債	31,397	34,486	△ 3,089
受取手形及び売掛金	24,535	25,272	△ 737	支払手形及び買掛金	16,116	18,022	△ 1,906
棚卸資産	8,413	9,121	△ 708	短期借入金	8,162	9,379	△ 1,217
II 固定資産	23,845	24,476	△ 631	II 固定負債	7,017	6,341	676
有形固定資産	15,422	16,249	△ 827	長期借入金	6,138	5,449	689
無形固定資産	403	550	△ 147	負債合計	38,414	40,827	△ 2,413
投資その他の資産	8,019	7,676	343	純資産合計	21,854	22,000	△ 146
資産合計	60,269	62,827	△ 2,558	負債・純資産合計	60,269	62,827	△ 2,558

ポイント

- ・債権減少(△7億円)、棚卸資産減少(△7億円)
- ・買掛金減少(△19億円)
- ・自己資本比率 36%

連結損益計算書

単位:百万円

	2009年3月期	2008年3月期	増 減	主な増減内容
	自 08.04.01 至 09.03.31	自 07.04.01 至 08.03.31		
売上高	154,797	141,974	12,823	
売上原価	138,188	125,586	12,602	飼料原料高騰によるコスト増
売上総利益	16,609	16,387	222	
販売費及び一般管理費	15,152	14,596	556	飼料安定基金増
営業利益	1,456	1,791	△ 335	
営業外収益	584	613	△ 29	持分法による投資利益
営業外費用	324	359	△ 35	
経常利益	1,716	2,045	△ 329	
特別利益	167	1,622	△ 1,455	
特別損失	273	448	△ 175	
税金等調整前当期純利益	1,609	3,219	△ 1,610	
法人税、住民税及び事業税	607	1,073	△ 466	
法人税等調整額	129	334	△ 205	
少数株主利益	17	17	0	
当期純利益	855	1,793	△ 938	

連結キャッシュフロー

単位：億円

	2009年3月期 [08.4.1~09.3.31]	2008年3月期 [07.4.1~08.3.31]	増減	2010年3月期 計画
営業活動によるキャッシュ・フロー (減価償却費)	28.7 20.8	8.8 21.7	19.9 △ 0.9	36.4 22.0
投資活動によるキャッシュ・フロー (設備投資額)	△ 12.0 △ 13.0	6.2 △ 9.2	△ 18.2 △ 3.8	△ 27.9 △ 29.9
フリー・キャッシュ・フロー	16.6	15.1	1.5	8.4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15.5	△ 15.5	0.0	△ 9.8
期末有利子負債残高	143	148	△ 5.0	142

ポイント

営業活動

○税金等調整前当期純利益	16.0 億円
○減価償却費	20.8 億円
○売上債権	△7.1 億円
○棚卸資産	△6.4 億円

投資活動

○設備投資	△13.0 億円
-------	----------

財務活動

○配当金	△7.8 億円
------	---------

各事業の概況

2009年3月期

飼料事業の概況

単位：億円

飼料事業	2009年3月期	2008年3月期	増減
売上高	1,247.3	1,139.2	108.1
売上総利益	92.0	91.7	0.3
販管費	79.1	74.5	4.6
営業利益	12.8	17.2	△ 4.4
畜産飼料	12.2	13.9	△ 1.7
水産飼料	0.6	3.3	△ 2.7
経常利益	15.9	19.9	△ 4.0

ポイント

- ・飼料原料相場高騰
- ・安定基金負担増加
- ・相場低迷による
養豚農場の収益悪化

増減要因

単位：億円

営業利益
△4.4億円



食品事業の概況

単位：億円

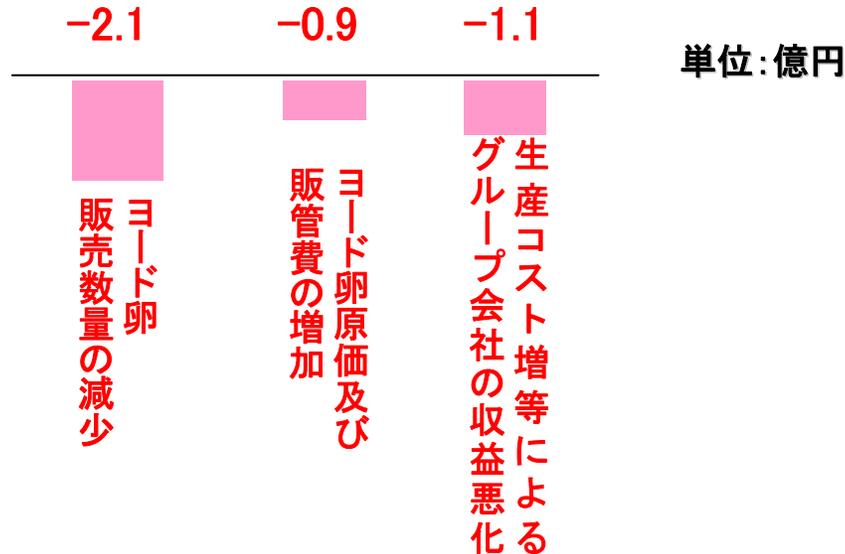
食品事業	2009年3月期	2008年3月期	増減
売上高	158.4	153.4	5.0
売上総利益	32.6	36.5	△ 3.9
販管費	29.6	29.3	0.3
営業利益	3.0	7.1	△ 4.1
経常利益	3.0	7.3	△ 4.3

ポイント

- ・景気後退によるヨード卵販売数量の減少
- ・農場コスト増加

増減要因

営業利益
△4.1億円



ライフテック事業の概況

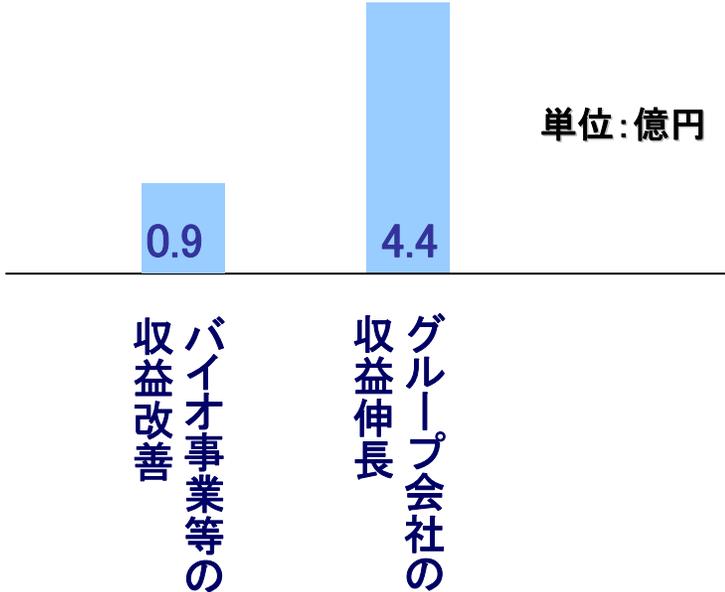
単位：億円

ライフテック事業	2009年3月期	2008年3月期	増減
売上高	142.1	127.0	15.1
売上総利益	41.2	35.4	5.8
販管費	28.2	27.6	0.6
営業利益	13.0	7.7	5.3
経常利益	12.5	7.1	5.4

ポイント
・ペットライン収益伸長

増減要因

営業利益
+5.3億円



グループ会社の概況

経常利益実績

単位：億円

	2009年3月期	2008年3月期	増減
飼料販売・飼料製造 5社	1.9	2.0	△ 0.1
養豚農場 2社	0.0	2.1	△ 2.1
養鶏農場 2社	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5
鶏卵販売 3社	△ 0.3	0.3	△ 0.6
ペット・バイオ関連 3社	9.8	5.4	4.4
合計 15社	10.4	9.3	1.1

ポイント

- ・経常利益10億円超を達成
- ・ペットラインの収益伸長
- ・相場低迷、原料高騰等による農場グループ会社の収益悪化

各事業の計画

2010年3月期

2010年3月期 計画のポイント

	2010年3月期計画	2009年3月期	増減
売上高	1,410 億円	1,547 億円	△ 137 億円
営業利益	2,700 百万円	1,456 百万円	1,244 百万円
経常利益	2,500 百万円	1,716 百万円	784 百万円
当期純利益	1,400 百万円	855 百万円	545 百万円
1株当たり配当金	5.0 円	5.0 円	-

ポイント

- ・安定基金負担増(▲6億円)によるコストアップ
- ・畜産飼料拡販、水産飼料収益改善
- ・ペットライン・ニッチク薬品工業等の更なる増益
- ・農場関連グループ会社の収益改善

飼料事業の計画

単位：億円

飼料事業	2010年3月期計画	2009年3月期	増減
売上高	1,090.9	1,247.3	△ 156.4
売上総利益	112.0	92.0	20.0
販管費	89.2	79.1	10.1
営業利益	22.7	12.8	9.9
畜産飼料	19.8	12.2	7.6
水産飼料	2.8	0.6	2.2
経常利益	20.9	15.9	5.0

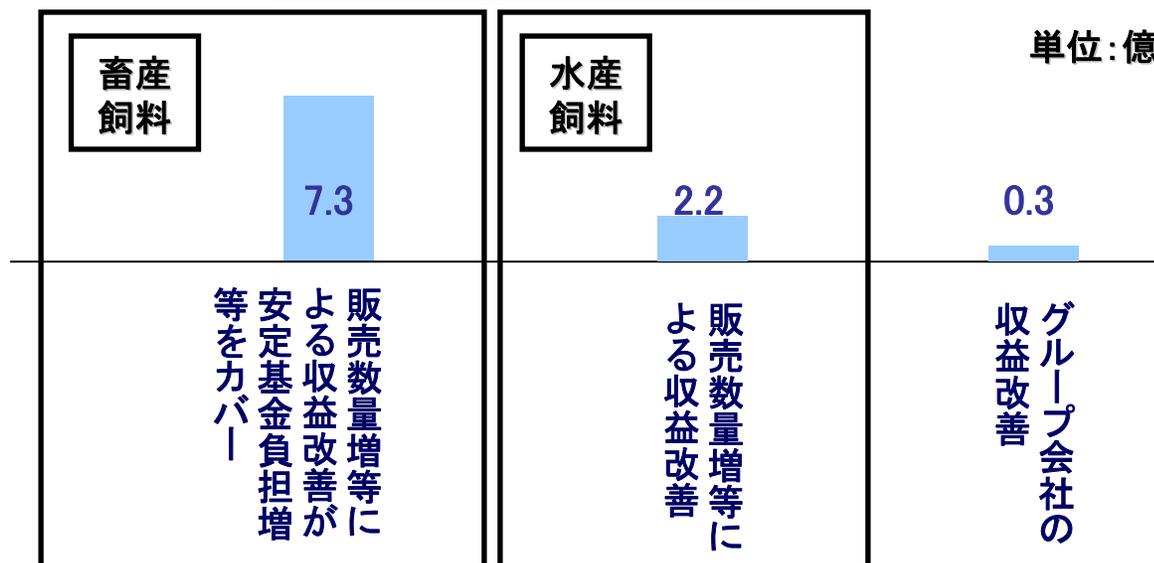
ポイント

- ・安定基金負担増
- ・販売数量増による利益増加

増減要因

単位：億円

営業利益
+9.9億円



食品事業の計画

単位：億円

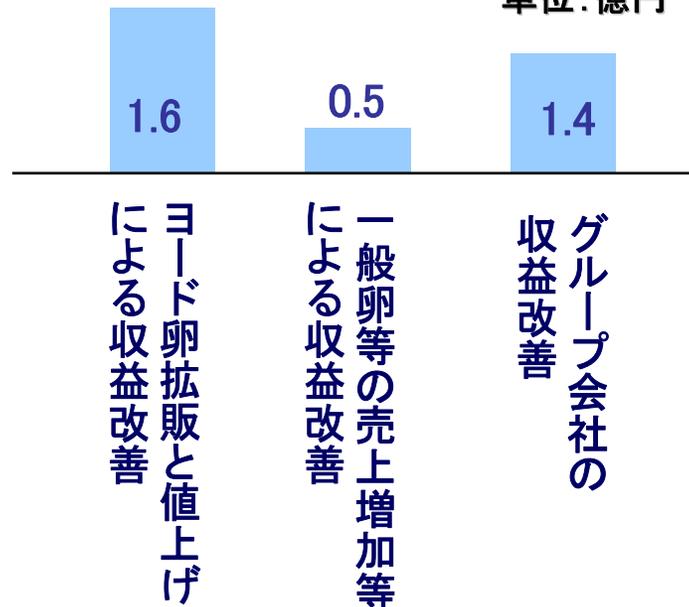
食品事業	2010年3月期計画	2009年3月期	増減
売上高	166.3	158.4	7.9
売上総利益	37.0	32.6	4.4
販管費	30.4	29.6	0.8
営業利益	6.5	3.0	3.5
経常利益	6.2	3.0	3.2

ポイント

- ・ヨード卵業務用を中心として拡販

増減要因

単位：億円



営業利益
+3.5億円

ライフテック事業の計画

単位：億円

ライフテック事業	2010年3月期計画	2009年3月期	増減
売上高	149.8	142.1	7.7
売上総利益	44.0	41.2	2.8
販管費	29.3	28.2	1.1
営業利益	14.6	13.0	1.6
経常利益	14.3	12.5	1.8

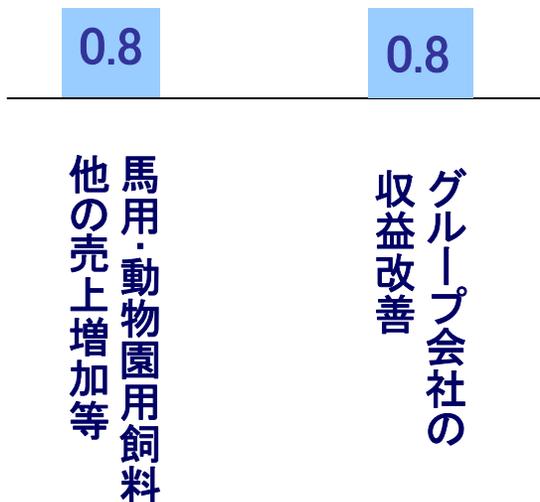
ポイント

- ・ペットラインの収益拡大
- ・馬用飼料の収益改善

単位：億円

増減要因

営業利益
+1.6億円



グループ会社の計画

経常利益計画

単位：億円

	2010年3月期計画	2009年3月期	増減
飼料販売・飼料製造 5社	2.2	1.9	0.3
養豚農場 2社	0.0	0.0	0.0
養鶏農場 2社	△ 0.6	△ 1.0	0.4
鶏卵販売 3社	0.7	△ 0.3	1.0
ペット・バイオ関連 3社	10.6	9.8	0.8
合計 15社	12.9	10.4	2.5

ポイント

- ・グループ会社合計の経常利益で12億超を達成する計画
- ・鶏卵販売グループ会社の収益改善(1.0億円)
- ・農場グループ会社の収益改善(0.4億円)

NOSAN 日本農産工業株式会社

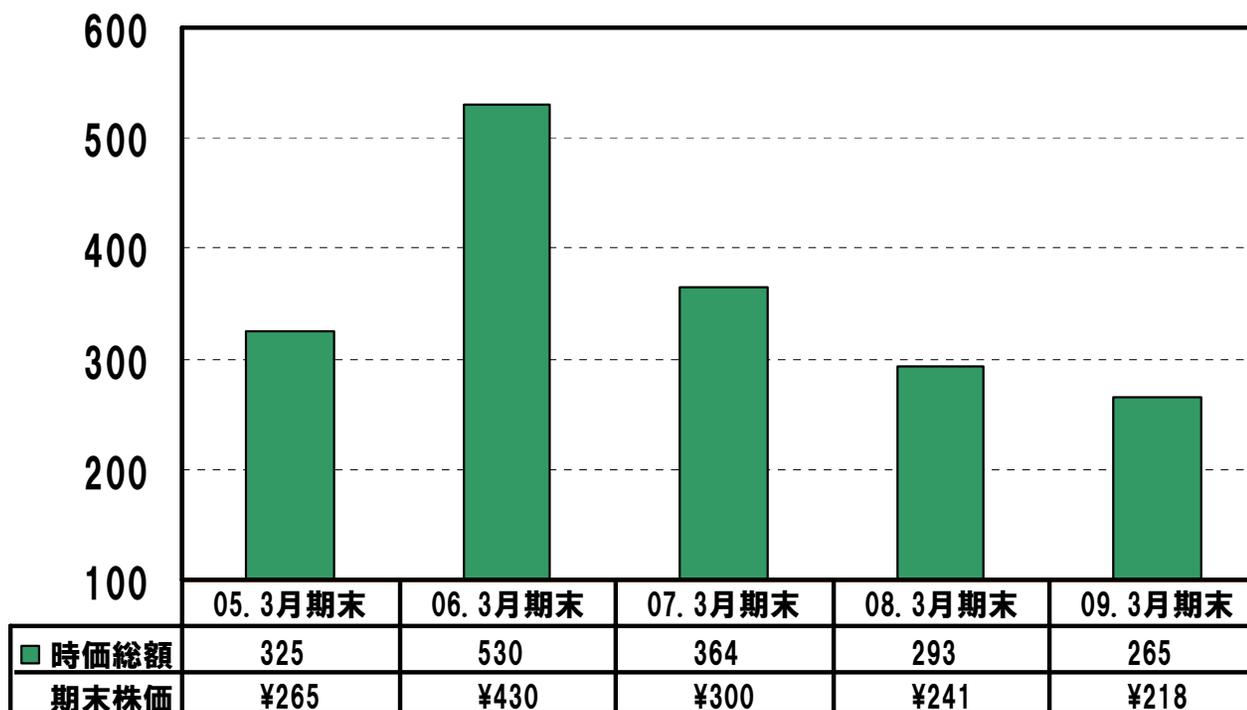
＜注意事項＞

本資料に掲載されている当社の計画・戦略及び見通しは、将来の予測であって、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績等、様々な要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。将来予測に関する記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

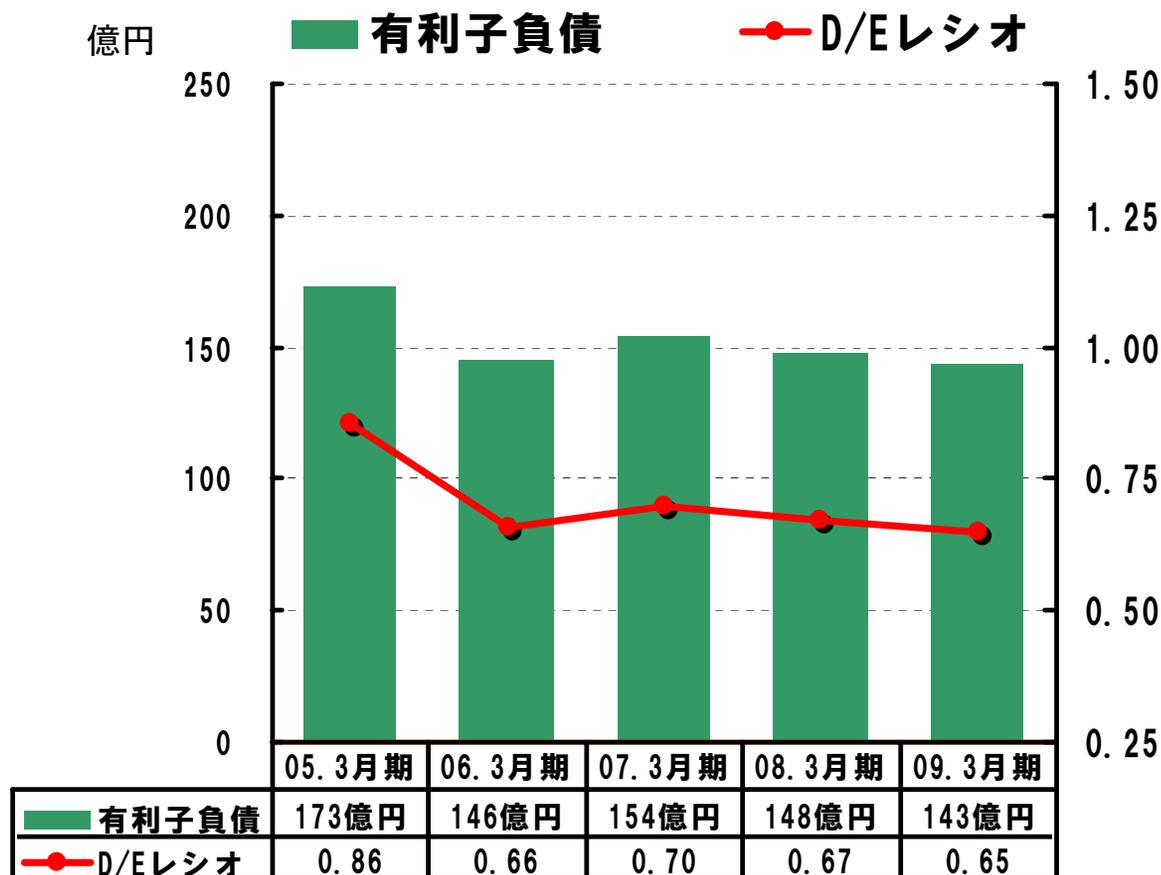
参考資料

時価総額

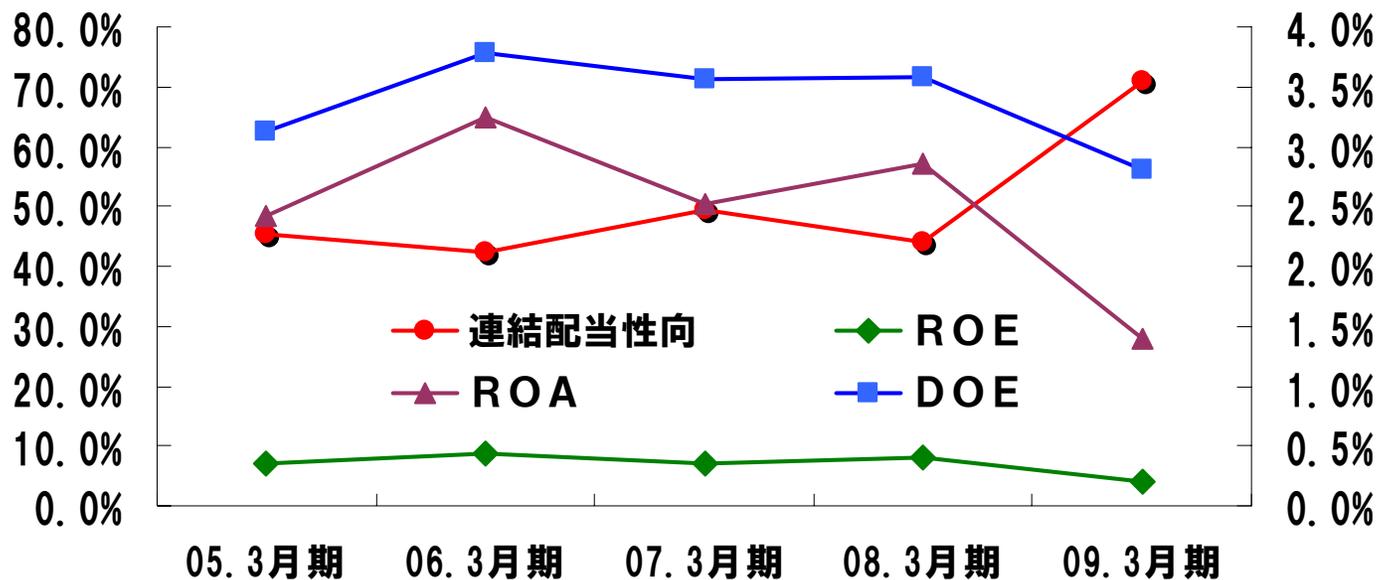
億円



期末有利子負債

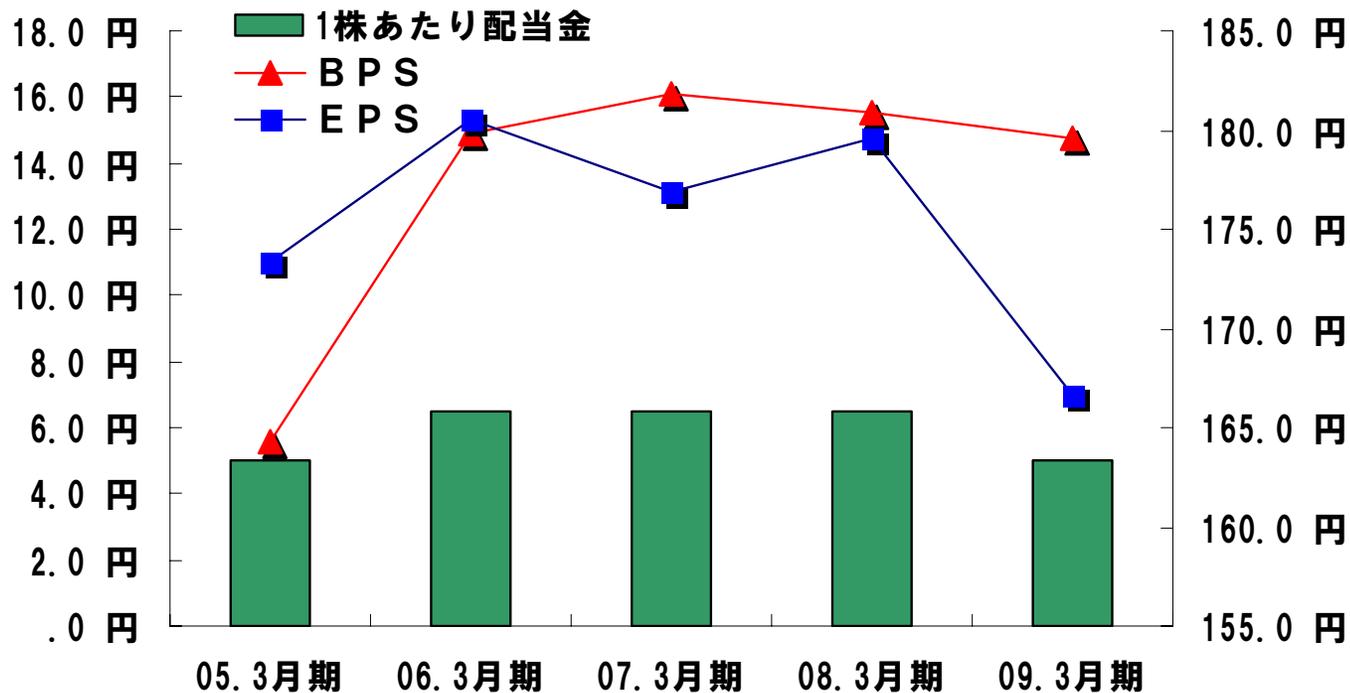


連結配当性向 (ROE/ROA/DOE)



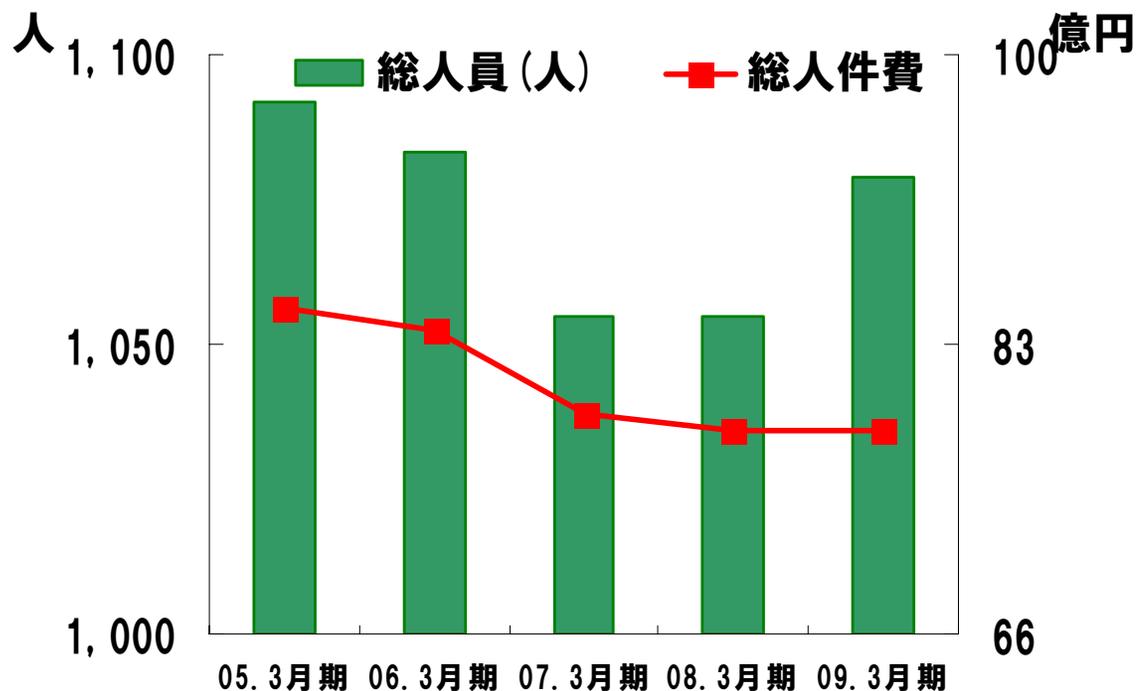
	05. 3月期	06. 3月期	07. 3月期	08. 3月期	09. 3月期
連結配当性向	45.3%	42.4%	49.5%	44.1%	71.0%
R O E	6.9%	8.9%	7.2%	8.1%	3.9%
R O A	2.4%	3.2%	2.5%	2.9%	1.4%
D O E	3.1%	3.8%	3.6%	3.6%	2.8%

1株あたり配当金 EPS/BPS



	05. 3月期	06. 3月期	07. 3月期	08. 3月期	09. 3月期
E P S	11.0 円	15.3 円	13.1 円	14.8 円	7.0 円
B P S	164.3 円	179.8 円	181.8 円	180.9 円	179.6 円
1株あたり配当金	5.0 円	6.5 円	6.5 円	6.5 円	5.0 円

総人員／総人件費など



単位：百万円

	05. 3月期	06. 3月期	07. 3月期	08. 3月期	09. 3月期
総人員 (人)	1,092	1,083	1,055	1,055	1,079
総人件費	8,500	8,400	7,900	7,800	7,800
一人当り売上高	109	107	116	135	143
一人当り営業利益	2	3	3	2	1